

# 目光今昔物語

## 第八話

### 〜黒鉄橋〜



祭りにでにぎわう黒鉄橋(昭和30年代)



現在の黒鉄橋

鬼怒川温泉街に架かる黒鉄橋は、明治43年、水力発電所(下滝発電所)の建設資材を運ぶために造られました。当時の藤原村では、馬や牛に引かせて資材を運んでいました。この馬車や牛車が鬼怒川を渡る際、つり橋を使っていましたが、このつり橋は、重量貨物の運搬に耐える強度を持っていませんでした。下滝発電所の建設には、重く大きな資材の運搬が必要であったため、新たに黒鉄橋が造

られたのです。当時、日本では珍しい鋼鉄製の橋だったことから、この名が付けられたといわれています。現在の黒鉄橋は、昭和60年に歩道を備えて生まれ変わり、多くの市民や観光客に利用されています。「鬼怒川五橋(立岩橋・ふれあい橋・滝見橋・鬼怒岩橋・黒鉄橋)」の一つとして、鬼怒川五橋めぐりの散策コースになっており、橋からは鬼怒川の絶景が眺望できます。

## 今月の表紙



美しさの凝縮された季節となりました。行く秋、来る秋を一日で楽しめるのも日光市ならではの魅力の一つでしょう。

「広報にっこう」もまず互いの地域を知りましょう。コンセプトに、各地域の紹介に重点を置いて紙面づくりをしています。その間、励ましのお言葉や厳しい指摘などをいただき、まさに一喜一憂しながら毎月発行しています。

10月15日(日)、横川の野岩鉄道男鹿高原駅前広場で、2006ビーフパイアInふじはらが行われ、70組約300人がバーベキューを楽しみました。色づき始めた山々に囲まれた男鹿高原には、香ばしいバーベキューの香りが立ち込め、あちこちから「おいしい」という声や笑い声が聞こえてきました。

## 10月の人口と世帯数

人口	95,452人	(-59)
男	46,594人	(-36)
女	48,858人	(-23)
世帯数	35,940世帯	(+5)

※住民基本台帳による(10月1日現在)  
※( )内は前月比

「表紙を楽しみにしています」というお言葉をいただきました。今月号のタイトルは紅葉した山葡萄の葉の色がいい、などという不可解なリクエスドに、まどいながらも努力してくれるスタッフたちがいます。毎号その折の季節感や雰囲気、イベントの楽しさや緊張感などを伝えたく写真と配色に注意をしています。